好きすき大好き 長束西～引き継ごう明日へのメッセージ～

広島市立長束西小学校　期間　平成１３年１０月１１日（木）～１１月１７日（土）

○　実施内容

我が町故郷「長束西」には，古くから伝わる「祭り」や「行事」，またその土地に伝わる「いわれ」などがある。それらは，昔の人々が創造してきた「くらし」に，その時代時代に新しいものが加えられ，今の暮らしに引き継がれてきたものである。

そこで，本単元では，「行事」や「祭り」またその土地に伝わる「いわれ」などに目を向けさせることを通して，いつの時代にも「くらし」をよりよくしようとして「知恵」を働かせた先人の姿に気づかせ，行事や祭りなどは時代とともに変化しているが，人々の「長束西」を思う気持ちやくらしの安定を願う気持ちなどは，ずっと受け継がれてきていることを学び取らせ，我が町故郷「長束西」に愛着を持ち，受け継がれてきたものを大切に引継ぎ，さらに発展させていこうとする態度を育てるようにしたいと考えた。

活動にあたっては，聞き取りの内容や方法を考え，地域の人を学校に招いたり，地域へ出かけて聞き取り活動や現地調査をしたりして，体全体を使って学んでいった。活動最終日に，お世話になった地域の人や学習支援ボランティア（保護者）を学校に招き，学んだことを「劇化」「踊りや歌」「ペープサート」などの様々な形で，我が町故郷「長束西」を発信した。

聞き取り活動班は，下記の通りである。

①「権地川チーム～源流を訪ねて～」②「亀石・竜王神社チーム」③「花見・節句チーム」④「とんど祭りチーム」⑤「いのこ祭りチーム」⑥「長束盆踊りチーム」⑦「昔の遊びチーム」⑧「昔のくらしチーム」

○　保護者・地域の人の反応や意見

「また何かあったら呼んでくださいね。」「これを契機に一人でも多くの子どもたちが，町内行事や祭りに参加してもらいたい。」「子どもたちが来ることで，学校が身近になった。」などという声がでた。

その背景には，人間として主体的に自己実現する場を求め，社会参加の意志を実現したいという欲求がうかがえる。単なる奉仕にとどまらず，向学心にかられて，生涯にわたって自ら懸命に学習しようとしているのである。

○　成果と今後の課題

児童と教師が地域と深く関わることで，地域や保護者との交流が密になり，学校がより身近な存在として地域に理解されたことが特筆すべきことである。今後、日常的・計画的な取り組みの中で，地域との絆を一層深め，地域との交流の輪を広げることが課題である。